

CU-80

入力感度/入力インピーダンス	コアキシャル バランス	300mV / 51KΩ 300mV / 67KΩ
出力/出力インピーダンス	コアキシャル バランス	1V / 300Ω 最大8.5V 1V / 1.2kΩ 最大8.5V
全高調波歪率	1KHz (定格)	0.006%以下
周波数特性	20~20KHz 10~100KHz	+0, -0.1dB +0, -1.0dB
S/N比	IHF-A	110dB
入力 (+2chはオプション)	2ch コアキシャル・イン 2ch バランス・イン 6(+2ch)コアキシャル・イン	1系統 2系統(インパートSW付き) 2系統
出力 (+2chはオプション)	REC・イン/アウト 6(+2ch)コアキシャル・アウト 6(+2ch)バランス・アウト	1系統(コアキシャル) 1系統(C, SW2系統) 1系統(インパート機能付き)
付属装置	電源スイッチ、インプットセレクター、音量アッテネーター、ドットマトリクスFLディスプレイ モニタースイッチ、ストレートスイッチ、アウトプットモードスイッチ ダウンミックス(センター)スイッチ、ダウンミックス(サブウーハー)スイッチ、バランス入力位相切替スイッチ ラインフェーズセンサー、信号グラウンド端子、ACインレット、ACアウトレット(連動、非連動)	
リモコン機能	音量アップ/ダウン、ミュート、インプットセレクター、ダウンミックス設定、出力モード設定 入力名称変更、チャンネルプリセットレベル設定、バランス出力位相切替 トーンコントロール、ストレート、設定保存/読み込み、設定パラメーターアップ/ダウン 本体FLDディマー、リモコン照明	
消費電力	36W / 41W (8チャンネル・アップグレード時)	
外形寸法	467 (幅) x 132 (高さ) x 466 (奥行き) mm	
重量	15.5kg / 16.0kg (8チャンネル・アップグレード時)	

※ 規格および外観は予告なく変更することがあります。

■ 8チャンネル・アップグレードサービス

MU-80

連続実効出力 (全8ch同時動作時)	8Ω / 4Ω	75W / 110W
最大出力 (全8ch同時動作時)	8Ω, BTL	220W
最大出力 (全2ch同時動作時)	8Ω / 4Ω	100W / 150W
最大出力 (全8ch同時動作時)	8Ω, BTL	300W
最大出力 (全2ch同時動作時)	8Ω / 4Ω	130W / 210W
最大出力 (全8ch同時動作時)	8Ω, BTL	380W
入力感度	8Ω, 75W	1.0V
入力インピーダンス	コアキシャル バランス	51KΩ 67KΩ
周波数特性	20~20KHz 1~390KHz	+0, -0.1dB +0, -3.0dB
全高調波歪率	8Ω, 1KHz 8Ω, 20~20KHz	0.01% 0.06%
S/N比	IHF-A	110dB
ダンピングファクター	200	
付属装置	電源スイッチ、パワー/ミュートインジケータ、レベルインジケータ、BTLインジケータ ディスプレイOFFスイッチ コアキシャルイン、バランスイン、入力切替スイッチ、BTLスイッチ、バランス入力位相切替スイッチ、スピーカー端子 ラインフェーズセンサー、信号グラウンド端子、ACインレット	
消費電力	585W (電気用品安全法) / 122W (無信号時) / 1040W (定格出力時)	
外形寸法	467 (幅) x 212 (高さ) x 491 (奥行き) mm	
重量	43.0kg	

※ 規格および外観は予告なく変更することがあります。



DIGITAL UNIVERSAL PLAYER
DU-7w



スーパーオーディオCDをはじめCDやDVD-AUDIO/DVD-VIDEOなどに完全対応した5.1ch出力を装備するユニバーサル・プレイヤー。PCMデジタル信号を滑らかに再生するフルエンシーDACを搭載する、音質最優先のマルチメディア再生機。

外形寸法: 467(W)×148(H)×394(D)mm 重量: 15.0kg

CONTROL AMPLIFIER
C-70f



独自開発のバランス伝送対応・高純度電子制御アッテネーター「LECUA」を搭載する新世代コントロールアンプ。強力な電源部と静粛性を高めたプリアンプ回路の構成により、音楽の陰影と鮮やかさをコントラスト豊かに再現する最新のパワーアンプドライバー。

外形寸法: 467(W)×187(H)×435(D)mm 重量: 22.6kg

STEREO POWER AMPLIFIER
M-70f



熟成のODNF ver.2.2回路や、余裕度の高い電源供給環境を実現した伝統的ハイナージャ電源、さらには構造体としての理想的なありかたを追求した高剛性コンストラクションなど、音質を徹底的に追求した200W(8Ω)出力のステレオパワーアンプ。

外形寸法: 467(W)×212(H)×440(D)mm 重量: 29.0kg

LUXMAN

MULTI-CHANNEL CONTROL AMPLIFIER

CU-80

8-CHANNEL POWER AMPLIFIER

MU-80



■ ラクスマン株式会社

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜1-3-1 TEL:045-470-6991 FAX:045-470-6997 <http://www.luxman.co.jp/>

LUXMAN CORPORATION

CU-80

MULTI-CHANNEL CONTROL AMPLIFIER



高品位マルチチャンネルの美音

ハイエンドのステレオフォニック再生と同次元で語ることのできる、高品位ビュアオーディオ・マルチチャンネルを実現したい。音に対するラックスマンの情熱を一心に注いで完成したCU-80は、最大8chのマルチチャンネル入力（独立2系統）に対応するハイグレード・コントロールアンプです。高音質を維持しながら全チャンネルを同等条件で操作するために、CU-80はステレオ・コントロールアンプC-70fに搭載された独自開発の高純度電子制御アッテネーター「LECUA」をマイコン制御することにより最適化した「LECUA-WM」を搭載。様々なチャンネル環境を想定したアナログ・ダウンミックス回路も装備した、全チャンネル・バランス出力対応の自信作です。

屈強なる駆動力の体現

8chのバランス/アンバランス入りに完全対応したMU-80は、ラックスマンの伝統をダイレクトに継承する8chアナログパワーアンプ。CU-80と同様に最新世代のODNF ver.2.2回路を搭載し、力強さと透明感を併せ持つ本物志向のパワーアンプに仕上げました。強大な電源部を備えることで最大出力(8チャンネル同時動作時)100W×8ch(8Ω)を実現する強力なアンプ回路は、隣接するチャンネル間でBTL=ブリッジ接続も可能。例えば4チャンネル動作で最大出力各300W(同時動作時、8Ω)や、BTL3ch+ノーマル2chという動作も簡単に設定できます。MU-80は、あらゆるスピーカー環境に柔軟に対応できるユニバーサルな設計も特徴です。

MU-80

8-CHANNEL POWER AMPLIFIER

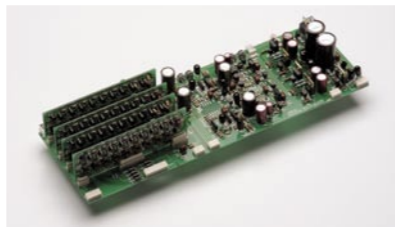


Technology

CU-80

■ 音量調節に、高純度アッテネーター LECUA-WM搭載

C-70fに搭載されたバランス動作のオリジナルLECUA(高純度電子制御アッテネーター)を8ch対応とするため、CU-80ではウェイトド・マトリクス(重み行列)方式のLECUA-WMを新規開発。精巧なロータリーエンコーダーとマイコン制御による位置検出回路で、8chすべてのオーディオ信号を高精度にコントロールします。しかも、各チャンネルの音量バランスを1dB単位(-20~0dB)で微調整することも可能。センターチャンネルやリアスピーカーなど、使用するスピーカーシステムの能率や音量感が異なる場合、ディスクの記録レベルに対応してチャンネル間のレベル設定が自由に行えるということは、マルチチャンネル対応機に望まれる機能。しかも、LECUA-WMは高音質な固定抵抗器を組み合わせただけの簡潔なシグナルパスの音質最優先設計。CU-80は、最小音量から最大音量まで、従来型の変抵抗器では不可避であったギャングエラーからも完全に解放され、ステレオ再生とマルチチャンネル再生がデメリットなく共存できる環境を実現しました。

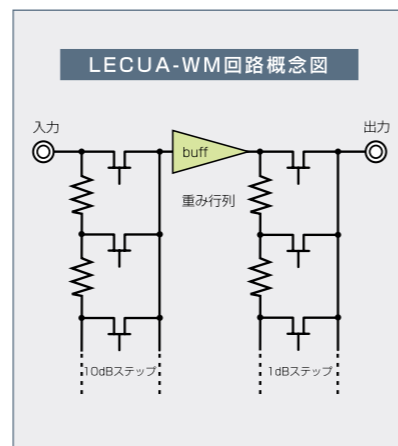


CU-80

■ 音質劣化の発生しないチャンネル間レベル調節を実現

CU-80に搭載された新開発のLECUA-WMは、それ自身が各チャンネルの減衰量を個々に設定できるため、ラインレベルアンプとしての構成をシンプルにまとめることに貢献しています。これまでは各チャンネルのレベル設定を可能にするため、全チャンネル分を連動させるマスター・アッテネーターの前段、あるいは後段にサブ・アッテネーターを置く場合がほとんどでした。それによるワイヤリングの増加や可変抵抗器をシリーズ接続することによる音質劣化は、CU-80では無縁です。個々のチャンネル・レベル

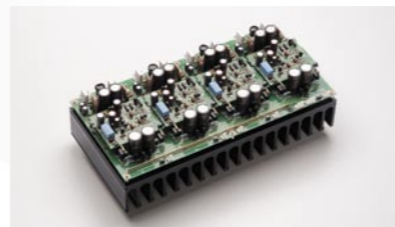
は付属のリモートコントローラーで簡単に操作できるので、リスニング・ポジションに座ったままチャンネル・バランスが調節可能。LECUA-WMの開発により、CU-80は簡潔なラインアンプを最大で8ch分搭載したコントロールアンプという形態に仕上がっています。マルチチャンネルの品位を大幅にアップさせた秘密は、このLECUA-WMにあります。



MU-80

■ 独立100W×8チャンネルパワーブロック

MU-80のパワーアンプ・ブロックは全チャンネルを同一構成とした、モノラル・パワーアンプの集合体として設計。隣接するチャンネル間の干渉をなくし、それぞれが単独動作でも妥協のないサウンドクオリティが実現できるように配慮されています。さらに全チャンネル独立アイドリングOFFスイッチを装備することで、未使用チャンネルに供給される電源を遮断。使用するアンプ回路にだけ効率的に電源供給環境を与えることができます。バイポーラ・トランジスタの出力素子を採用した基板は、CU-80と同様に音質を吟味した鉛フリーのはんだとキャパシター容量の少ないFR-4ガラス繊維に70μ厚の銅箔を持つ高級仕様。ラックスマンの伝統である高音質パーツを多用してパワーアンプとしてのクオリティを徹底的に追及しました。



MU-80

■ 電流の瞬時供給特性に優れた大型のEIタイプトランス

余裕を持って全チャンネルを同時に連続駆動できるよう、MU-80では瞬時電流供給能力に優れた大型のEIコア型トランスを電源部に採用。電源ケーブルの環境まですべて考慮したうえで、1台の大型トランスを搭載することにしました。各チャンネルに専用電源部を備えたモジュール構成のマルチチャンネル対応パワーアンプの場合は1本の電源ケーブルからの分岐が必要で、しかもスペースファクターの関係から搭載可能な電源トランスの容量に制限が生じます。MU-80は筐体内部のスペースを理想的に配分して搭載しうる最大クラスの電源トランスを投入。電源ブロックから各チャンネルのパワーアンプ回路に至るまでのワイヤリングも充分に考慮して、叩きつけるような衝撃音からピアノシモレベルの微細な音楽情報まで克明に再現します。

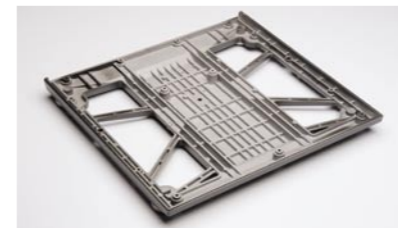


MU-80

■ シンメトリック構造のセラミック・パウダー入りFRP製一体成型シャーシ

全体で43kgというMU-80の強大な電源部と各チャンネルのパワーアンプ・ブロックを一手に支えるボトムシャーシには、ガラス繊維で強化

した高比重のFRP(ファイバー強化プラスチック)による一体成形のカスタム・モノコックシャーシを投入。放熱環境もじゅうぶんに考えられたシンメトリカルなデザインで高剛性でありながら振動減衰効果も優れています。しかも素材は非磁性材であり音質向上にも大きく貢献しています。



MU-80

■ 装着性を高め接触抵抗を低減した新開発の大型スピーカーターミナル

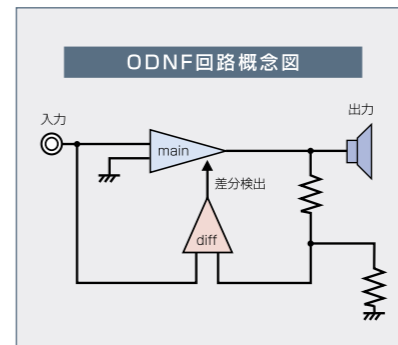
最大8chという大規模なパワーアンプの構成は、とすればスピーカー端子の場所や大きさに制限を与えかねません。MU-80では各チャンネルのスピーカー端子を上下にレイアウトして、接続が容易でしかも強固なコンタクトを可能にしました。この装着性に優れた大型のスピーカーターミナルは、MU-80のために新規開発されたものです。端子加工を施された極太ケーブルにも適合し、グリップ性の良いノブで確実に締めることができるので接続ミスも防ぐことができます。BTL接続の場合もわかりやすい表示となっています。



CU-80 MU-80

■ 最新のODNF ver.2.2回路を搭載

一般的なネガティブ・フィードバック回路は出力信号の一部をそのまま増幅回路に帰還させています。これに対して、ラックスマンの独自開発であるODNFは入力信号と出力信号を比較して、その歪成分だけを抽出して増幅回路にネガティブ・フィードバックする新方式。位相特性も大幅に改善され、音質に影響を及ぼさない帰還回路技術です。CU-80、MU-80では最新チューニングのバージョン2.2を搭載しています。



CU-80 MU-80

■ 長年蓄積された音質向上技術を惜しみなく投入

余裕度の高い電源供給環境を実現したラックスマン伝統のハイナージャ電源や、音質を徹底的に吟味した高品質カスタムパーツの投入、そして構造体としての理想的なありかたを追求した高剛性コンストラクションなど、CU-80とMU-80は高く評価されてきた歴代のラックスマン製品の英知を有形無形の両面から継承しています。



CU-80 MU-80

■ 全ての回路に70μ厚FR-4ガラス繊維基板を採用

どんなに優れた回路構成でも、それをマウントして信号伝送を行う回路基板が貧弱であれば音質的な効果は期待できません。LECUA-WMやODNFアンプを初めとする全ての回路部には、70μ厚の銅箔を使用したキャパシター容量の少ないFR-4ガラス繊維素材の配線基板を採用。微小音量から最大音量までのダイナミック・コントラストを鮮やかに聴かせるための配慮です。

CU-80 MU-80

■ ハイスピードな音楽信号の伝送に寄与する鉛フリーのはんだを採用

ワイドレンジ&高ダイナミックレンジという新世代のデジタルオーディオにハイスピード応答するため、CU-80とMU-80では鉛フリーのはんだを採用しました。もちろん音質を評価したうえで最良の素材を投入したことはいうまでもありませんが、これにより経年変化によるはんだ接点の劣化も最小限にとどめています。

CU-80 MU-80

■ 筐体の制振性能を高めるグラデーション鋳鉄製インシュレーター・レッグ

床面やオーディオラックを通じて機器に伝達される不要振動を効果的に遮断し、筐体全体の制振性能を高める目的で、定評あるグラデーション鋳鉄製の重量級インシュレーター・レッグを全面的に採用。確実な接点を構築することで、大地にしっかりと根を張ったような逞しいサウンドを実現しています。



CU-80

MULTI-CHANNEL CONTROL AMPLIFIER

Function



■複数のサウンドソースを同時接続可能

マルチチャンネル入力を合計2系統装備。ユニバーサル・プレーヤーやスーパーオーディオCD、DVD、サウンドデコーダ、AVアンプのプリ出力など、コアキシャルのラインレベル信号を同時に2系統接続できることで複数のマルチチャンネル機器を切り替えて使用することが出来ます。

■XLRバランス端子を全出力チャンネルに装備

様々なパワーアンプに幅広く対応するため、アンバランス出力のほかにバランス出力 (HOTピン切替機能付き) を全チャンネルに標準装備。外來ノイズをキャンセルする理想的なバランス伝送接続を可能としています。

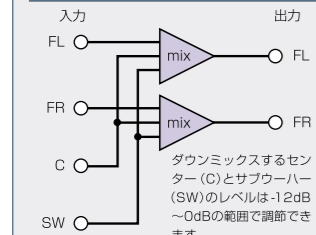
■2chステレオ機器に合計4系統の専用入力を用意

本格的な2チャンネル専用機を接続するために、バランス/アンバランスの入力端子をそれぞれ2組、合計4組装備。ステレオ再生の場合にも十分な入力環境を維持しています。また、レコーダ入力も1組用意しました。

■センターとサブウーハーはツインドライブ対応の出力端子を装備

マルチチャンネル接続時の多様な構成を考慮し、特にセンターチャンネルとサブウーハーチャンネルは出力端子を2組装備しました。スピーカー・レイアウトの自由度を増し、高品位なツインドライブ環境にも対応可能です。

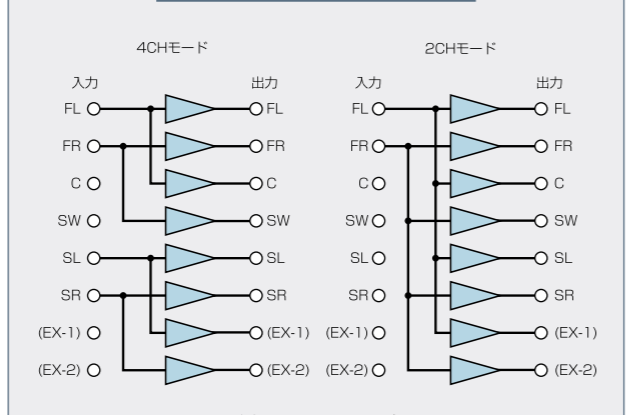
CU-80 ダウンミックス概念図



■音質重視のアナログダウンミックス機能

センターチャンネルを使わない4.1ch (6.1ch) 再生やサブウーハーを持たない5.0ch (7.0ch) 再生、あるいはセンターチャンネルとサブウーハーの両方を使用しない4.0ch (6.0ch) は2チャンネル再生を優先するオーディオファイルが望む最も身近なマルチチャンネル構成といえます。CU-80はその要望に完璧に答えるべく、センターとサブウーハーを独立設定できるアナログ領域でのダウンミックス機能を装備。快適なリモコン操作によるミキシング・レベルの微調整も実現しています。

CU-80 MULTI以外の出力モード



■応用システムの構築に4chバイアンプモードと2chマルチアンプモード

CU-80は、2チャンネル再生専用動作として各チャンネルに最大4系統の出力を与える2chマルチアンプモードや、ダウンミックス機能を併用した4ch対応システムとして、フロントとリアに独立した2系統の出力を与える4chバイアンプモードを装備し、バイワイヤリング対応のスピーカーを使用して、贅沢なバイアンプ駆動を行うというアイデアも活かされます。



■リスニングルームの明るさに考慮したタイマー機能付きFLディスプレイ

4段階に明るさの調節が可能な大型ドットマトリクスFL管の搭載により、離れたところからでも動作状態をハッキリと確認することができます。



■全ての機能が手で操作可能なアルミ製高級リモコン

専用設計の照明付きアルミ製リモコンにより、リスニングポジションでCU-80の各種操作が簡単にコントロールできます。

8-CHANNEL POWER AMPLIFIER

MU-80

Function



■全チャンネル独立アイドリングOFFスイッチ装備

アンバランス/バランスの入力切り替えのほかに、アイドリングOFFスイッチを備えることでパワーアンプ・ブロックを完全に休止することが可能。これにより使用するチャンネルの電源供給を行うことができ、使用チャンネルの電源余裕度を大幅にアップさせる機能です。



■表示OFFスイッチ付きのチャンネル動作インジケータ

各チャンネルにLEDによる3段階のレベル・インジケータを装備しています。またBTL使用時などシステムの環境によって様々な発光パターンを表現しています。

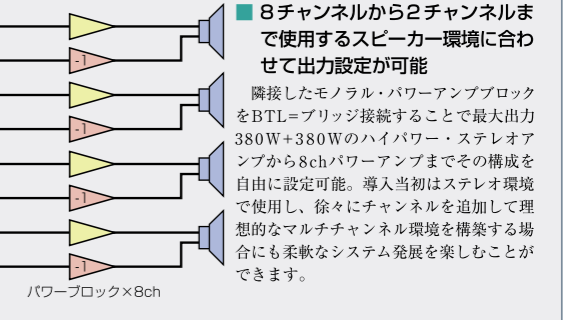
■ボディは斬新なプラスターホワイトを採用

ラックスマンの斬新なプロダクトを象徴するプラスターホワイト・カラーを採用し、リスニングポジションでCU-80の各種操作が簡単にコントロールできます。

■8チャンネルから2チャンネルまで使用するスピーカー環境に合わせて出力設定が可能

隣接したモノラル・パワーアンプブロックをBTL=ブリッジ接続することで最大出力380W+380Wのハイパワー・ステレオアンプから8chパワーアンプまでその構成を自由に設定可能。導入当初はステレオ環境で使用し、徐々にチャンネルを追加して理想的なマルチチャンネル環境を構築する場合にも柔軟なシステム発展を楽しむことができます。

MU-80 BTL接続時のスピーカー駆動イメージ



全方位、ピュアオーディオ・グレード。

System Variation

7.1ch (センターBTL)



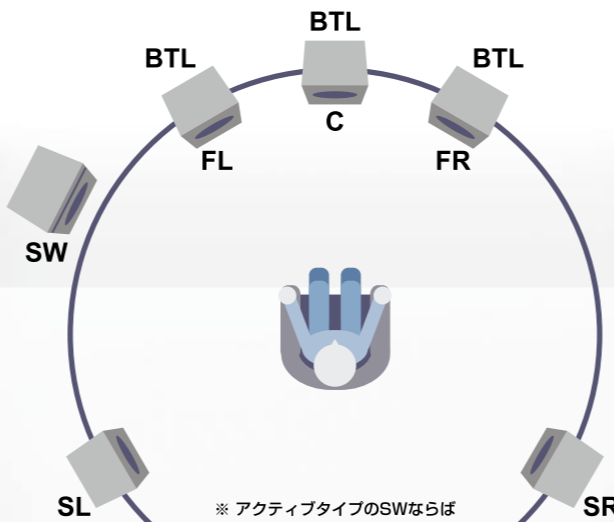
※ アクティブタイプのSWならば
ツインドライブも可能

■ サラウンドシステム・バリエーション： 7.1ch

CU-80をオプションの8ch仕様にしてフル構成とした標準+オプションの7.1ch再生。アクティブ・サブウーハーの場合MU-80の1ch分をOFFにできますが、DVDビデオによる映画鑑賞でダイアログの存在感を高めたい場合には、OFFにしていた1ch分を利用したセンターチャンネルのみのBTL接続も有効です。

7.1ch			
CU-80		MU-80	
出力モード：MULTI		BTL：C	
ダウンミックス：OFF		Bi：なし	
入力	出力	入力	スピーカー出力
FL	FL	1	1
FR	FR	5	5
C	C	3	3-4 BTL (アクティブ)
SW	SW	-	2
SL	SL	2	2
SR	SR	6	6
EX-1	EX-1	7	7
EX-2	EX-2	8	8

5.1ch (フロントBTL)



※ アクティブタイプのSWならば
ツインドライブも可能

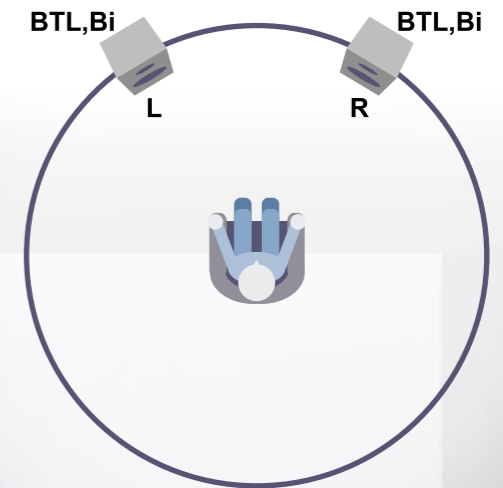
■ サラウンドシステム・バリエーション： 5.1ch

もっとも標準的な5.1chのマルチチャンネル再生システムです。左右のフロントスピーカーとセンタースピーカーをMU-80のBTL接続で強化しています。サブウーハーはアクティブタイプを使用するか、もしくはCU-80のダウンミックス回路でサブウーハー成分を左右のフロントスピーカーに担当させた5.0chマルチチャンネル再生も考えられるでしょう。音像定位と楽器や声の存在感を重視する聴きかたといえます。

※ フロント3本をBTL、アクティブSWを使用

5.1ch			
CU-80		MU-80	
出力モード：MULTI		BTL：FL, FR, C	
ダウンミックス：OFF		Bi：なし	
入力	出力	入力	スピーカー出力
FL	FL	1	1-2 BTL
FR	FR	5	5-6 BTL
C	C	3	3-4 BTL (アクティブ)
SW	SW	-	2
SL	SL	7	7
SR	SR	8	8

2ch BTL, Bi-Amp

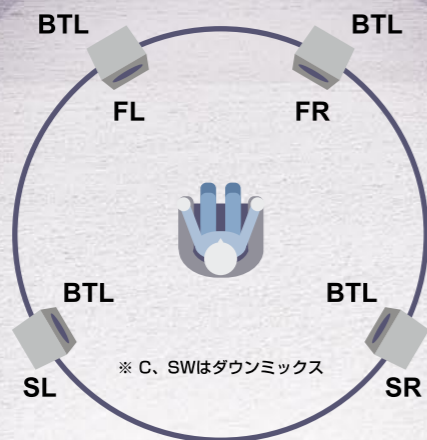


■ ステレオシステム・バリエーション： 2ch BTL, Bi-Amp

CU-80の出力構成を2ch出力に設定してバイワイヤリング接続が可能なスピーカーシステムをそれぞれBTL接続でバイアンプ駆動するという、究極的な2チャンネル再生です。この場合はパワーアンプであるMU-80の入出力がフル稼働になりますから、圧倒的な臨場感が楽しめることでしょう。CU-80とMU-80を組み合わせた、スペシャルなサウンド構築です。

2ch BTL, Bi-Amp			
CU-80		MU-80	
出力モード：2CH		BTL：FL, FR	
ダウンミックス：OFF		Bi：FL, FR	
入力	出力	入力	スピーカー出力
FL	FL	1	1-2 BTL
FR	FR	3	3-4 BTL
FR	FR	5	5-6 BTL
FR	FR	7	7-8 BTL

4.0ch BTL



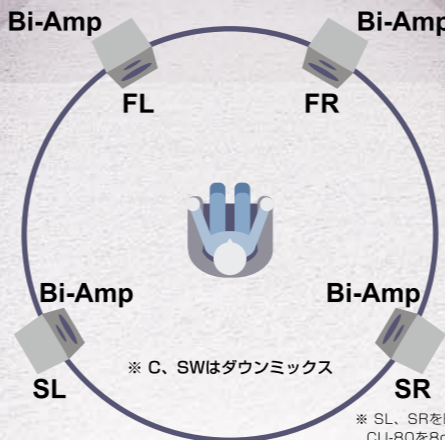
※ C, SWはダウンミックス

■ サラウンドシステム バリエーション：4.0ch BTL

前方2本、後方2本という4chのマルチチャンネル再生環境。センターチャンネルとサブウーハーを高品位にダウンミックスした後は、MU-80の全チャンネルをBTL接続とし、全てのスピーカーを大出力のBTLドライブとします。マルチチャンネルで収録されたビッグバンドの演奏など、ライブ感あふれる迫真のサラウンド音源を大迫力で再生するのに最も適しています。

4.0ch BTL			
CU-80		MU-80	
出力モード：MULTI		BTL：FL, FR, SL, SR	
ダウンミックス：C, SW		Bi：なし	
入力	出力	入力	スピーカー出力
FL	FL	1	1-2 BTL
FR	FR	5	5-6 BTL
C	-	-	-
SW	-	-	-
SL	SL	3	3-4 BTL
SR	SR	7	7-8 BTL

4.0ch Bi-Amp



※ C, SWはダウンミックス

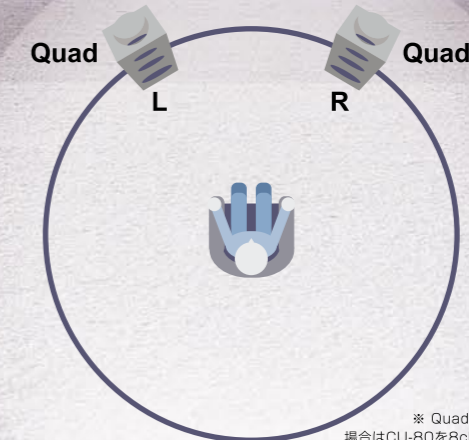
■ サラウンドシステム バリエーション：4.0ch Bi-Amp

前方2本、後方2本という4chのマルチチャンネル再生環境では、CU-80のダウンミックス回路が大活躍します。ここではすべてのスピーカーシステムがバイワイヤリング対応である場合、贅沢なバイアンプ駆動が行えます。全体のドライブ感が高まり、特に高域側はウーハーの逆起電力の影響から開放されるために明瞭かつ鮮やかな音が楽しめます。

4.0ch Bi-Amp			
CU-80		MU-80	
出力モード：4CH		BTL：なし	
ダウンミックス：C, SW		Bi：FL, FR, SL, SR	
入力	出力	入力	スピーカー出力
FL	FL	1, 2	1, 2 Bi
FR	FR	5, 6	5, 6 Bi
C	-	-	-
SW	-	-	-
SL	SL	3, 4	3, 4 Bi
SR	SR	7, 8	7, 8 Bi

※ SL, SRをBi接続する場合は
CU-80を8chアップグレード
標準ではSL, SRはシングル接続

2ch Multi-Amp



※ Quad(4系統)出力する
場合はCU-80を8chアップグレード
標準ではTri(3系統)出力

■ ステレオシステム バリエーション：2ch Multi-Amp

上図の2ch BTL, Bi-Ampと同じようにCU-80の2ch出力を応用していますが、ここではMU-80をBTL接続ではなく通常のパワーアンプ動作にしてパワーアンプ3系統によるトライアンプ駆動や4系統によるクワッドアンプ駆動としています。トライワイヤリングやクワッドワイヤリングに対応しているスピーカーや、ネットワーク内蔵のスーパーツイーターとの組み合わせを楽しむことができます。

2ch Multi-Amp			
CU-80		MU-80	
出力モード：2CH		BTL：なし	
ダウンミックス：OFF		Quad：FL, FR	
入力	出力	入力	スピーカー出力
FL	FL	1	1
FL	FL	2	2
FL	FL	3	3
FL	FL	4	4
FR	FR	5	5
FR	FR	6	6
FR	FR	7	7
FR	FR	8	8